

プログラム責任者からのメッセージ

産科婦人科
教授 前田 長正

高知大学医学部附属病院産科婦人科は、基幹病院として周産期・婦人科腫瘍・生殖・女性ヘルスケアで県の中核病院であり、高い質の医療の提供や臨床試験・治験への参加も積極的に行っています。連携施設には県の総合中核病院、分娩に特化した診療施設、地域医療を支える総合中核病院を備えています。まずは産婦人科専門医を取得する研修計画を立てていますが、取得後の周産期・生殖内分泌・婦人科腫瘍などのサブスペシャルティ専門医取得も視野に入れた研修計画を作成しています。さらに大学院進学を積極的に支援し、とくにトランスレーショナルリサーチに重点を置いて研究を行っています。このプログラムによるステップアップにより、地域から日本そして世界に貢献する産婦人科医となるよう共に研鑽しましょう。

プログラムの特色

高知大学病院産科婦人科を基幹施設とし、県内外の連携施設と研修施設群を形成しています。連携施設は、分娩の多い施設や県・地域の中核病院で構成しています。各々専門的で特徴的な診療を行っており、施設群をローテートすることで充実した医療を経験できるよう計画しています。そして、周産期・生殖医療・腫瘍・女性ヘルスケア領域全てで高い質の医療を提供できる専門医の育成を目指します。指導医も施設間で連携し、医療レベルの向上を図り専攻医に高い質の研修を提供します。

連携施設名等

	施設名	指導医名	外来患者数 (1ヶ月平均/人)	病床数	分娩数 (1ヶ月平均)
基幹施設	高知大学医学部附属病院	前田 長正 教授 他1名	1,300	40	24
	高知医療センター	林 和俊 副院長 他3名	1,610	43	63
連携施設	高知県立幡多けんみん病院	中野 祐滋 部長 他2名	327	30	33
	高知県立あき総合病院	池上 信夫 副院長	90	45	8
	こにしクリニック		2,378	16	12
	高知ファミリークリニック		932	19	36
	JA高知病院	川島 将彰 医長	365	24	24
	松岡病院産科・婦人科(福山市)		1,420	51	36

取得可能専門医

- 産婦人科専門医
 - 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
 - 日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
 - 日本生殖医学会 生殖医療専門医
 - 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医研修3年間は、以下の要領で行う。

- (1) 基幹施設及び連携施設の施設群の中で研修を行う。
この施設群の中で、4領域(生殖内分泌・婦人科腫瘍・周産期・女性のヘルスケア)について研修する。
- (2) 基幹施設での研修期間…6ヶ月以上24ヶ月未満
連携施設での研修期間…24ヶ月未満
- (3) (1)で述べた4領域について、定期的にプログラムの履修状況を入力しプログラム責任者がこれをチェックする。
- (4) 基本的には、以上の専攻医研修3年で研修を修了し6年目に専門医試験を受験する。

指導医の声

助教
山本 慎平

産婦人科には周産期・腫瘍・生殖内分泌・ヘルスケアという大きく4つの分野があります。当科には各分野のエキスパート医師が在籍し、周産期では胎児スクリーニング、腫瘍ではがんゲノム医療、生殖内分泌では生殖補助医療の拡充と子宮内膜症、ヘルスケアでは更年期の診療やプレコンセプションケア等に力を入れ、それぞれが切磋琢磨しながら質の高い医療の提供を心がけています。研修では各分野をまんべんなく学べるよう、指導医とともに外来・病棟での診療、手術や分娩等を行い、幅広い産婦人科の診療技能を習得することができます。

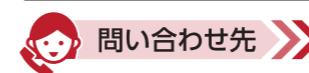
また、チーム医療を重視しており、TeamSTEPSを導入して円滑なコミュニケーションを行い、安全かつ質の高い診療を行える環境整備に力を入れています。

先輩の声

医員(指導医)
高田 和香

産科婦人科に入局後、昨年度産婦人科専門医を取得しました。通常は後期研修3年間修了後の4年目に専門医受験資格が得られます(症例数・学会発表・論文が必要です)。私の場合は子育てしながらであったため随分時間を要しましたが、皆さんの支えがあり取得することができました。現在は4分野のうち女性ヘルスケア分野に進み、女性一人一人に寄り添えるよう精進しています。

子育ての方も日々学ぶことが多く、善き母目指して精進中です。



問い合わせ先

■ 教室名/産科婦人科学
■ 担当者名/前田 長正
マエダ ナガサキ

■ 電話/088-880-2383
■ メール/im34@kochi-u.ac.jp